

学 校 長 様
英語科教諭 様
本学会会員 様

2022年6月吉日

ELEC 同友会英語教育学会会長 本多 敏幸
同 サマーワークショップ実行委員長 中島 利恵子

ELEC 同友会英語教育学会 サマーワークショップ 2022 (オンラインにて実施)

初夏の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ELEC 同友会英語教育学会では、本年度もサマーワークショップを開催いたします。1999年に始まりましたこの研修会は今回で24回目となり、多くの現職の先生や教員志望の学生に受講していただいております。

受講者ご自身によるプラクティス・ティーチング（模擬授業）と選択制ワークショップをメインに、指導技術の向上や指導法の改善をめざす研修です。これまで一万人以上の方が受講された「ELEC サマープログラム」のノウハウや、本学会の各研究部会の研究成果を活かした、ELEC 同友会英語教育学会ならではの内容です。本年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、Zoomを使ったオンラインによる実施となります。受講される方はご自宅等からの参加となります。オンラインでのご参加となりますので、全国津々浦々から、たくさんのお申込みをお待ちしております。

記

1. 日 程 2022年8月8日（月）、9日（火）
2. 実施方法 Zoom（遠隔会議システム）を使ったオンラインによる研修会
3. 主 催 ELEC 同友会英語教育学会
4. 定 員 80名（小学校 8名×2クラス、中学校 8名×4クラス、高等学校 8名×4クラス）
※ 受講申し込みの受付は先着順です。定員に達し次第締め切りとさせていただきます。
5. 参加費 ELEC 同友会英語教育学会会員 3,000円
(2日間) 一般（新会員） 8,000円（年会費5,000円+参加費3,000円）
※一般の参加者は、本サマーワークショップへの参加により2022年度の新会員の資格を得ます。本学会主催の各研究部会、研究大会、オンラインセミナー等への無料での参加が可能です。また、研究紀要やニュースレターの無料酒配布等の特典があります。
※参加費の中には教材費とその郵送料も含まれます。
6. 参加資格 ・本学会の会員及び新規会員で、2日間の全プログラムに参加できる方
・常時カメラオンの状態で参加できる方
※カメラオンができる通信端末および通信環境を整えた上でご参加ください。
※大学生・大学院生も参加できますが、全クラス合わせて10名以内となります。

7. 申込方法 【申し込み受付期間：7月1日（金）～7月25日（月）】（定員に達し次第締切）

① 本学会のホームページ (<http://elecfriends.com/>) より「申し込み専用フォーム」へアクセスし、必要事項を入力して、申し込みを完了してください。申し込み後、「**申し込みデータの送信が完了**」したことを通知するメールが自動送信されます。

※ このメールは申し込み受理のメールではありませんので注意してください。

② フォーム入力完了後、数日以内に、**申し込み受理**のメールが送信されます。

③ **申し込み受理**のメールをご確認の上、送信日より7日以内に、メールに記載された方法で、合計金額を振り込んでください。

※ 7日を過ぎてご入金がない場合はキャンセルとさせていただきます。

④ 参加費振込完了後に、本学会より送信される**入金確認のメール**を確認してください。

※ 一旦納入されました費用は返金いたしません。

8. プログラム概要

<第1日目 (8/8)>

- 9:00～ 9:20 開講オリエンテーション
9:20～10:10 講演
10:20～11:10 テーマ別選択ワークショップ ①
11:20～12:10 テーマ別選択ワークショップ ②
12:10～13:10 昼食
13:10～14:30 体験授業（模擬授業、解説、質疑・協議）
プラクティス・ティーチング・オリエンテーション
14:40～16:00 ホームルーム研修（自己紹介、プラクティス・ティーチング準備）
指導案に関する質疑応答

<第2日目 (8/9)>

- 9:30～ 9:50 各ホームルームにてプラクティス・ティーチングについて確認
9:50～12:05 プラクティス・ティーチング（午前の部）
① 9:50～10:20 ② 10:25～10:55 ③ 11:00～11:30 ④ 11:35～12:05
12:05～13:05 昼食
13:05～15:20 プラクティス・ティーチング（午後の部）
⑤ 13:05～13:35 ⑥ 13:40～14:10 ⑦ 14:15～14:45 ⑧ 14:50～15:20
15:25～16:10 情報交換会・質疑応答
16:15～16:40 閉講式
16:50～17:30 オンライン懇親会 ※お時間のある方はぜひご参加ください。

※ プラクティス・ティーチングは、お一人につき、授業 15 分、協議 15 分を予定しています。

9. 講演・テーマ別選択ワークショップ

◆ 講演 演題：「生徒の興味を引き出す授業づくりの視点」

講演者：豊嶋 正貴（文教大学附属中学校・高等学校）

教師・学習者・教材・ICTの4つの視点から授業づくりに大切なことをいっしょに確認していきます。

◆ テーマ別選択ワークショップ ※ 下記①・②からそれぞれ1講座（=計2講座）を選択して下さい。

| | | 講座名・講師 | 講座内容 |
|---|--------|---|--|
| ① | 1 A | 「FREPAを指標とする教科書分析」 羽田 あずさ（横須賀市立田戸小学校） | FREPA（言語と文化の複元的アプローチのための参照枠）の枠組みに基づく相互文化的能力（IC）の育成につながる指標を用いて、諸外国の小学校英語教科書や日本の英語検定教科書を一緒に分析したいと思います。 |
| | 1 B | 「音読練習からアウトプット活動へ」 高瀬 ひとみ（東京都立白鷗高等学校・附属中学校） | 教科書本文を音読させるとき、目的をイメージして生徒に練習をさせていますか。アウトプット活動の基本となる音読練習について、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。 |
| | 1 C | 「単元計画の立て方～backwardに授業を組み立てる方法～」 工藤 洋路（玉川大学） | 新課程になって、単元のまとまりを意識した指導がより求められるようになりました。評価も見据えて、backward designで授業を組み立てるための教材の見方・捉え方を提案したいと思います。 |
| ② | 2 D | 「インタラクショナリティを育成するには」 狩野 晶子（上智大学短期大学部） | 英語でインタラクション（やり取り）をする力を小中高を通してどう育み伸ばすか、基礎から、より発展的なインタラクションに向けた段階的な指導の道筋をワークショップ形式で考えます。 |
| | 2 E | 「ICT×文法指導」 岩瀬 俊介（学校法人石川高等学校・石川義塾中学校） | 日々進化するICTにより、英文法の指導方法や指導内容に変化が起きております。今回は未来の文法指導について具体的な指導事例を中心に、皆様と一緒に今後の文法指導について考えてみたいと思っています。 |
| | 2 F | 「中高教科書本文の扱い方～領域統合型言語活動の実現に向けて～」 津久井 貴之（群馬大学） | 教科書本文のどこに着目してどのような言語活動を行うか、中高ともに新教科書になった今こそ、中高共通に大切にしたいこと、中高で軽重をつけたいことを整理してみたいと思っています。 |

10. プラクティス・ティーチング（受講者による模擬授業）の内容

- ・他の受講者が児童・生徒役となり、模擬授業を行っていただきます。
- ・各校種とも、使用する教科書は本部から郵送いたします。

<小学校>

小6の言語材料を用いた体験授業を通して、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力と関連し、異文化間理解や相互文化的能力（IC）の育成につながる言語活動について考えます。

〔使用教科書：ONE WORLD Smiles 6（教育出版）〕

<中学校>

中3の新出文構造または教科書本文の導入のどちらかを選び、模擬授業を行います。

Oral Introduction および英語を使用する活動の展開を中心に考えていきます。

〔使用教科書：NEW HORIZON English Course 3（東京書籍）〕

<高等学校>

単元末の言語活動を見据えた授業構成と導入の在り方を考えます。「論理・表現Ⅰ」の検定教科書を使用します。

〔使用教科書：Vision Quest English Logic and Expression I Standard（啓林館）〕

11. ホームルーム・アドバイザー（五十音順）

<小学校>

| | |
|--------------------|----------------------|
| 五十嵐 浩子（国土舘大学） | 狩野 晶子（上智大学短期大学部） |
| 黒木 愛（杉並区立堀之内小学校） | *佐藤 亜紀（横須賀市立明浜小学校） |
| 長沼 君主（東海大学） | 幡井 理恵（昭和女子大学附属昭和小学校） |
| 羽田 あずさ（横須賀市立田戸小学校） | 松崎 奈穂（上尾市立原市南小学校） |

<中学校>

| | |
|--------------------------|----------------------|
| *黄 俐嘉（千代田区立九段中等教育学校） | 太田 裕也（大田区立大森第八中学校） |
| 柿崎 伸樹（東京都立白鷗高等学校） | 金枝 岳晴（東京学芸大学附属竹早中学校） |
| 高瀬 ひとみ（東京都立白鷗高等学校・附属中学校） | 溪内 明（文京区立本郷台中学校） |
| 中島 真紀子（筑波大学附属中学校） | 原田 博子（文京区立第十中学校） |
| 本多 敏幸（千代田区立九段中等教育学校、他） | 宮崎 太樹（日野市立日野第一中学校） |

<高等学校>

| | |
|-----------------------|------------------------|
| *高杉 達也（筑波大学附属中学校） | 津久井 貴之（群馬大学） |
| 豊嶋 正貴（文教大学附属中学校・高等学校） | 中島 利恵子（新島学園中学校・高等学校） |
| 萩原 一郎（都留文科大学） | 日高 由美子（東京都立立川国際中等教育学校） |
| 八木 孝之（東京都立新宿山吹高等学校） | 吉住 香織（神田外語大学） |

（*アシスタントアドバイザー）

12. 体験授業の授業者

<小学校> 佐藤 亜紀（横須賀市立明浜小学校）
<中学校> 中島 真紀子（筑波大学附属中学校）
<高等学校> 津久井 貴之（群馬大学）

13. お申込みに際しての注意事項

- ・オンラインでの実施にあたり、インターネットが接続できる環境で、カメラおよびマイクが内蔵（外付けでも可）されているパソコンが必要となります。カメラオンができる機材および通信環境を整えた上でご参加ください。ファイル送信などをするため、タブレットやスマートフォンでの受講はできません。接続方法は、申し込み完了後、ご連絡します。
- ・通信費用は受講者のご負担となります。
- ・通信環境の設定は、受講者ご自身の責任となりますので、事前の通信環境等のご確認をよろしくお願いいたします。

14. 問い合わせ先

- ・ご不明な点はEメールでお問い合わせください。 summerworkshop2022@elecfriends.com
- ※ アドバイザーの勤務校等への電話連絡はご遠慮ください。